



杜の子つうしん

特定非営利活動法人

せんだい杜の子ども劇場

〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-40-7アルティマ101

TEL/FAX 022-375-3548 H P <https://senmori.org/>

2026年 冬号

2026年1月発行

新年のご挨拶

特定非営利活動法人 せんだい杜の子ども劇場
代表理事 新川 達郎
(同志社大学名誉教授、
NPO法人水環境ネット東北代表理事)

2025年12月に開催されました特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場総会で理事に再任され、理事会で代表理事に互選いただきました新川です。あけましておめでとうございます。新しい年度の初めに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

近年私たちは、指定管理者としての施設運営や子どもたちの活動をめぐって、それぞれ極めて重いいくつかの問題に直面してきました。これに対して、私たち自身はもちろん、地域、市民団体、学校、行政など関係者が一丸となって、問題解決や再発防止に取り組んできました。せん杜もそのための運営方針の改善や組織体制の見直しなども進めてまいりました。その結果、スタッフの皆さんの尽力もあって、施設運営においても、またNPO活動においても、子どもたちのためのよりよい環境づくりを進めることができたと考えています。

もちろん今でも毎日の運営は大変ですし、課題は山積みですし、まだまだ改革改善を続けなければならないところは多々残っています。それらに丁寧に対処しながらとなりますが、何と言っても本来の使命である子どもたちのよりよい学びと育ちの場を、提供し続けることができるかが問われています。私たちの定款にもありますように、子どもの豊かな成長に寄与することが目的なのです。文化芸術活動や子育て支援などを通じて、子どもたちが自ら学び、豊かな感性と創造性、社会性を身につけ成長していくことが何より私たちが大切にしたいことなのです。

実はこうした子供たちへの思いが育まれるのは、それほど古いことではありません。中世から近代の初めにかけての子どもは、世界各地でそれぞれに異なってい

ますが、共通した権利を持つ存在などとは考えられていなかったのです。例えば、小さな大人として、児童労働に駆り出されていた工業化時代初期の悲惨なことも多かった歴史なども思い起こされます。日本は比較的子どもたちを大切にする文化が江戸時代あたりから定着していたともいわれますが、教育制度の整備などは明治維新以後ということになります。

こうした歴史を踏まえながら、人として子どもたちの特性に基づく権利を明確にしたのが「子どもの権利条約」です。1989年に国連総会で採択され、1990年に発効し、日本では1994年に批准ができました。日本の法律は条約に従わなければならないために、改正が進められてきました。そして2022年に制定された「こども基本法」はこの条約に沿った内容となっています。そこでは、子どもは守られる存在というだけではなく、ひとりの人間として本来の権利の主体だということ、そして成長の過程にあって保護や配慮を受ける権利をもっているということを掲げているのです。

私たちは、幸いにも、今と未来の子どもたちにかかわる機会を持つことができました。そして間違いなく私たちの使命をよりよく果たすことが、子どもたちの権利を十分に保障することにつながります。地域、学校、行政そのほかの関係者の皆様とともに、力を合わせて進んでいく1年にしたいと思っています。

巻頭文「新年のご挨拶」 新川 達郎	1
2025年度第20回通常総会 報告	2
2025年度第20回通常総会 報告	3
2025年度第20回通常総会 報告	4
ママパバライン仙台 ボランティア受け手養成講座 報告	5
ライブ&トーク! 2nd 報告、みやぎチャレンジプロジェクト募金のお願い	6
児童館★NEWS	7
事務局より・ピックアップ情報	8

2025年度 第20回通常総会 報告

2025年12月13日(土)14:00~17:15

宮城野区中央市民センター 第1会議室

出席総数：21名（正会員総数22名）
（出席11名、委任状9名、書面評決1名）

第20回通常総会のご報告をいたします。

司会：黒田 達也 理事
議長：新川 達郎 理事



《代表理事挨拶》…阿部代表理事

先日、「ママパパライン仙台」の受け手養成講座の初回講座へ参加した。講師は阿部芳吉先生だったが、お話を聞いて、子どもたちをとりまく環境は非常に複雑になってきており、問題を持つ子の原因はやはり大人なのだと思う。先生は80歳になられるが、今なお非常にパワーを持って活動されている。我々も見習いたいところ。

本日の総会では6つの議題があるが、是非みなさんの忌憚のないご意見を聞かせて欲しい。

■ 第1号議案 ■

「2025年度事業報告」

【全体統括】…阿部代表理事報告

今年度の事業として、「杜の子まつりin仙台」は芸術鑑賞事業として、劇団たんぽぽによる「あやうし！ズッコケ探検隊」を上演し、大変好評だった。子どもの体験事業は、「遊びの広場」を設け、子どもスタッフの活躍もあり大盛況だった。

また、バックヤードツアー「冬の親子ステージ探検隊」では、舞台裏の体験や身体表現ワークショップで、演劇を身近に感じてもらった。

子育て支援事業は、「ママパパライン仙台」を常設し電話を受けた。その他、事業の普及啓発とスキルアップを目指した「子育て応援講座」を実施できた。また、「ライブ&トーク」については、MHKSとの共催により、3回開催した。

社会からの資金調達としては、ママパパラインが共同募金会の「みやぎチャレンジプロジェクト」に応募した。

組織運営は、コンプライアンスの徹底、ガバナンスの強化を図り、研修も実施した。役員報酬や服務規程についても協議策定した。

広報紙は、年4回発行。理事会5回、執行会議は6回開催。各種委員会参加や講師派遣もあった。

【芸術文化体験事業】

①杜の子まつりin仙台…鈴木事務局次長報告

劇団たんぽぽによる「あやうし！ズッコケ探検隊」を上演。入場者は昨年より20名増の413名。

夏休み後から申込み受付を開始し、すぐに定員となった。上演作品は、やはり子どもたちが慣れ親しんだものが良いようだ。終演後、子どもだけでなく大人からも、生の舞台劇への感動や驚きの声が聞かれた。

【子どもの体験事業】

①杜の子まつりin仙台 遊びの広場…鈴木事務局次長&宮崎副代表理事報告

10ブース、6団体が開催。来場者は昨年より70名増の505名。杜の子まつり全体の来場者は、コロナ禍前の558名に対し、今年は973名となった。子育て世代の「遊び」への需要がより増してあると感じる。放課後デイサービス3団体の参加もあり、昨年に引き続き、車いすOK、イヤーマフの貸与・筆談ボード有りなどをチラシに掲載した意義があった。インクルーシブな対応ができる環境作りを今後も意識していきたい。

来場者アンケートからはスタッフの雰囲気良かったとの声もあり、大変好評だった。今回の開催については、他のネットワークとのつながりが色濃く出た事業だった。ブース出店団体、ジュニア・リーダー、TSUTSUJIproject(榴岡児童館小学生有志)、N.I.N.J.A(県児連教育部)、児童館から職員・アルバイトも参加。社会との繋がり、社会で活躍する貴重な機会となっている。

②バックヤードツアー…大久保副代表理事報告

「冬の親子ステージ探検隊」(宮城野区文化センターと共催)。親子8組22名参加。親子が一緒に体験することで、普段見られない親・子それぞれの姿が見られた。やはり子どもにとって生の舞台、生の音に包まれた空間で感じる事が大切。

【子育て支援事業】

①ママパパライン仙台常設…照井理事報告

年間計56日間、毎週金曜日常設(50日間)全国キャンペーン(6日間)を開設。体制としては、受け手14名、支え手2名、スーパーバイザー2名(黒澤理事、有坂理事)で対応した。相談件数は、総数118件、平均通話時間は33分となった。主な悩みとしては、発育・発達、教育に関する悩みが多いが、学校への不満も含まれる。本人の悩みとしては、夫婦間の悩みやシングルマザーとしての悩み。受験で失敗した子の母親からの悩みも聞かれた。

②ママパライン仙台電話受け手ボランティア養成講座・・・照井理事報告

受け手ボランティア養成講座については、毎回好評で、今年度新しく受け手として参加してくれるようになった方が2名いる。

③コンサートの開催・・・鈴木事務局次長報告

音楽鑑賞体験としてMHKSとコラボし、3回開催。コンサートの前半では若手演奏家によるクラシックコンサート、後半は鑑賞の感想や、生の音楽を聴く機会をどのように作っていくか等をザックバラに話し合う構成。

ライブ&トーク2ndは、子どもが主体として楽しめるよう、ジブリの音楽等子どもに親しみのある演奏内容。3rdは、絵本にあわせたイラストのスクリーンをバックに朗読し、それに合わせて演奏をするといった魅力的な内容となった。1stについては、音楽サロンで30名程の規模で開催されたが、距離感が近くて良かったという意見もあった。2年目となり、リピーターの方もいるが、「生のクラシックを始めて聴けて良かった」「乳幼児が参加できて良い」との意見が毎回ある。

【指定管理事業】

①榴岡・新田児童館・・・斎藤専務理事報告

両児童館の職員と一緒に研修を受ける機会を設け、弁護士による合同の個人情報保護やコンプライアンス研修を行った。その他にも職員合同研修会を開催。こどもへの対応、接遇、防災・安全等について職員全員が情報共有し、理解を深めた。榴岡・新田の両児童館で4者会議を実施し両チームで意識的に連携しながら運営してきた。実務担当者も加わり一緒に安全点検表、マニュアル、安全計画を作成する等組織強化が図られ、スタッフ間のコミュニケーションも深まったと感じる。保護者対応としてカスハラの問題等もあり、スタッフ間で情報を共有し連携をとって対応してきた。

②榴岡児童館・・・斎藤専務理事報告

指定管理を受託するようになって5期目となるが、榴岡小学校との協働は進んでいる。小学校、PTA、学校支援本部、児童館の4者による「ほっとぽっと倶楽部」を月1回定例で開催し、今起きている課題について話し合っている。また、4者共催の地域公開セミナーは、子どもと大人が共に学ぶ機会として定着している。

今年度の児童クラブの登録数は333名。児童クラブへのニーズは多くなっているが、児童館スタッフ全員の力が高まっていることを感じており、チームでまとまって運営してきた。

中高校生や専門学校生などが、子どもたちへやりたい事を教えるなど、先輩から子どもたちへ良

い関係が構築されつつある。子どもの力も伸びている。「TSUTSUJI project」「TUTUJI plus」のメンバーが頑張っており、杜の子まつりのスタッフ等として参加する場が増えている。

「安心でんしょばと」システムの導入により、職員の作業は軽減化された。子どもたちの入退館・緊急時の情報が時間差なく保護者へ届くことは、重要だと感じる。

③「SOATワークショップ」・・・宮崎副代表理事報告

子どもたちが自然を体験することは難しくなってきたおり、危機感を抱いている。そのような中でSOATと一緒に自然を体験することは子どもたちにとって非常に貴重な体験となっている。子どもたちのいろいろな側面を新たに気づくことができ、職員にとっても良い経験になっている。

④新田児童館・・・大久保理事報告

榴岡児童館と一緒にやってきた1年。また、地域・学校との協働事業「NOKISHITAねっと」等多くの団体との連携事業が進み、それぞれの想いを共有しながら児童館としても、底上げになった。

子どもスタッフ会は、子ども達が自らが主体として、企画運営し自らルールを決め、市民センター祭り等に参加し、自分達で成功させた。子ども達の成長が著しかった。子育て支援クラブ「ドーナツ」の運営については、子育て中の保護者による運営を行ってきたが、仕事復帰等で運営が難しくなってきた。 「ほっこりサロン」は、乳幼児親子と年配者との世代間交流の場。「ウェルカム赤ちゃん講座」は、妊娠期からの繋がりを意識して開催している。更に父親支援に力を入れた活動を意識して行った。

地域との協働では、善應寺住職を招いて「命について」の講話をいただいた。最近、子ども達の言葉遣いが、悪いことが気になっていたが、住職の話真剣に聞く姿が見られ驚いた。また、地区社協や民児協と共催し、子ども食堂をコラボ食堂として2回/年実施することができた。ハロウィーンパレードを今年も地域商店等、地域の方々の協力により実施することができた。

児童クラブの人数が多く、支援を必要とする子ども多いため、毎月1回、職員が話し合いながら対応を検討する職員ミーティングを実施している。また、榴岡児童館との協働では非常に気付かされることも多く、今後も一緒に頑張っていきたい。

【ネットワーク事業】

①仙台市内児童館連絡協議会・・・宮崎副代表理事報告

団体の枠を超えて、皆で考え、協議し、情報共有している。仙台市とのワーキング会議では、仙児連として「安心でんしょばと」やR8児童クラブ募集について、仙台市に対して提言を行っている。

②宮城県児童館・児童クラブ連絡協議会・・・

大久保副代表理事報告

若者部会として県児連主催の研修会では、ファシリテーターを務めた。研修会では、運営団体を超えた繋がりが生まれている。N.I.N.J.Aの存在が若手の中につながりを産んでいる。第4地区研修会では、新川先生にコンプライアンスについて講師を務めて頂き、熱心な御講義をいただいた。

■ 第2号議案 ■

「2025年度決算報告」・・・吉澤事務局長報告

経常収益：190,742,090円

経常費用：184,563,180円

当期経常増減額：6,178,910円増

法人税・住民税及び事業税：△1,262,000円

当期正味財産増減額：7,440,910円増

※法人税等の△：過年度決算において、受託事業分の税金を準備金として用意していたが、今年度から受託事業がなくなり、納付の必要がなくなったため戻し入れた。

■ 第3号議案 ■

「2025年度監査報告」・・・新川議長代読

(監査より)組織としてこの1年凄く成長したと感じた。組織全体で一体となつてがんばっているように感じる。これからも色々多角的に視野を巡らせて欲しい。

第1号議案から第3号議案まで一括審議

～満場一致で承認可決～

■ 第4号議案 ■

「2026年度事業計画案」・・・阿部代表理事説明

【基本方針】

2026年度も子ども劇場の理念である教育・芸術・文化・福祉などのあらゆるチャンネルからアプローチしていき「子どもが主役」「子どもや親が孤立しない」社会に貢献していきます。

【基盤事業】

(1) 芸術文化事業：仙台市以外での宮城県内でも芸術鑑賞会を開催する予定。具体的には、大崎地域及びその他地域を予定。

(2) 子どもの体験事業：「杜の子まつりでの遊びの広場」、及びバックヤードツアー等

(3) 子育て支援事業：「ママパパライン仙台」の常設と、受け手養成講座開催。「ライブ&トーク2nd」を年明けから実施。

(4) 指定管理事業：榴岡児童館、新田児童館。

(5) ネットワーク事業では、宮教大の吉村教授チームによる研究が3年目となり調査最終年となる。

【法人設立20周年記念事業】

20周年記念として祝賀会を10月～11月頃に実施したい。その際には功労者表彰も行いたい。

【組織運営】

役員報酬規程等の策定と見直しを予定。また、令和8年12月に日本版DBS法(性犯罪防止法)が施行されることに伴い、規程の策定等しっかりと対処していく。

■ 第5号議案 ■

「2026年度予算案」・・・吉澤事務局長説明

収益・費用(事業費・管理費)は、人件費UPを見込みその他は粗前年決算額での予算案とした。

第4号議案・第5号議案を一括審議

～満場一致で承認可決～

■ 第6号議案 ■

「役員改選案」・・・大久保副代表理事説明

【理事】

阿部 清人 有坂 紀美江 大久保 佳奈子
大久保 潤 黒澤 哲 黒田 達也 齋藤 純子
照井 和子 新川 達郎 眞山 正太 宮崎 雅行
山口 景子 ※佐々木 信(新任) 村上 仁志(新任)
※小玉 順子(退任)

【監事】

小岩 孝子 小玉 順子(新任)

※金井 ユキエ(退任)

～第6号議案、満場一致で承認可決～

被選任者はいずれもその就任を承諾した。

代表理事・副代表理事・専務理事は、後日理事による互選とする。

■ 事録署名人選出 ■

議事録署名人：阿部清人 宮崎雅行

議案全部の審議終了。閉会を宣し16時30分解散



後日理事会にて役員を互選し、下記の通り決定！

【代表理事】 新川達郎

【専務理事】 齋藤純子

【副代表理事】 阿部清人、宮崎雅行、大久保潤

【理事】 有坂紀美江、大久保佳奈子、黒澤哲、黒田達也、照井和子、眞山正太、山口景子、佐々木信(新任)、村上仁志(新任)

【監事】 小岩孝子、小玉順子(新任)

(事務局長) 吉澤みはる (顧問) 北田基子



はいママパライン仙台です

『電話受け手ボランティア養成講座』報告

新しい電話受け手を育てる目的から『電話受け手ボランティア養成講座』を、11月30日・12月7日・14日の3日間で6講座を行いました。受け手希望者、現在の受け手、子育て支援に携わっている方など延べ115名が受講しました。講座ごとの感想を一部紹介します。

『不登校の子どもの理解と家族の支援』

- 子どもと親を同時に支援している大切さと、不登校の子どもの問題は一人一人異なること。一辺倒でなくその子に合った支援が大切なんだと感じました。
- 「ひとりではなく、みんなで楽しく苦労して行きましょう！」という最後の先生からの一言に感銘しました。震災当時のお話から、被害を受けた者も受けなかった者も同じく何気ない話ほど互いの心の扉が開かれてゆくものなのだなあ。

『傾聴ボランティアをする上での心得』

- 「自分を知る時間を大切に」相手に寄り添うことはもちろん大切ですが、改めて「自分を知る」ということを意識することができました。
- 「苦しくなった時こそ、人との対話」という言葉が、社会性のある人間という動物にとって大切な感情解決になるんだと、気づきました。
- 自分をつくる価値観で自分を見つめること。自分のつくっているキーワードを選びにくかったことも気づきになりました。バイスティックの7原則を始めて知りました。

『障害児を持つ家族の理解と支援』

- 親を支えることが子につながる。そこに“きょうだい”がいるということに気づかされました。障害児を持つ親の心のサイクルや、メカニズムを広めて行きたいと改めて思いました。
- 障害を持つ家族、特に兄弟姉妹の支援について印象に残りました。面倒を見るのは当り前的に考えられがちな兄弟に本音を安心して話せる“きょうだい支援プログラム”はとても大切なものだと思います。



『被災地での子育て事情と支援活動』

- 子育てして必要だなとか、やりたいな、から地域に根差した支援活動をしていること、原点にグッときました。生きているからこそだなと思い、一日過ごすことの重みを感じました。
- 居場所づくり、大人も子どもも安心して居られる場所って、本当に大切です。最初ママの応援だったのがどんどん広がって、子どもや高校生まで大きな広がりを見せている。子ども自らの考えを大切に、企画や実行できる体験は素晴らしいですね。

『女性相談から見える社会状況と困難』

- 元々あった社会的な女性の困難さがコロナで顕在化したというグラフが、数的に分かりやすかったです。相談者の悩みを解決できるのは相談者本人。解決する力を信じて支援する相談室のあり方が、ママパラインと通じる大切な姿勢だと学びました。
- ジェンダーギャップ指数が118/146カ国には驚きました。ひとり親世帯の貧困率が48.1%。この講義を通じて自分の認識が実態と大きくズレていることに気づかされました。
- 暴力は手段であり、その目的は支配である。時と場所と相手を選んで行う加害者の行為。加害者の数に等しく被害者がいて、その家族も影響を受けている。声をあげる勇気も力ですね。
- 『傾聴とロールプレイ』
 - 傾聴とは奥深いと改めて知ることができました。ロールプレイをしながら自分の未熟さを感じましたが、頑張ってみようという気持ちになりました。
 - 心を隠そうとする笑いは、私がやっていたことで、謎がとけました。暗く、重たい空気にならないように、笑っていた時期があって…自分が話を聴く側になった時には気を付けようと思いました。
 - 傾聴の目指すところ、「心を聴く」「沈黙も大切にしよう」「自由に感情を表現してもらおう」



せん杜共催イベント

ライブ&トーク！2nd を開催しました！



今年も1月にMHKSさんとの共催イベント「ライブ&トーク」を開催し、乳幼児～学童期程度の親子96名に参加いただきました。

親子で楽しく参加できる、がテーマの2ndは、手拍子足踏みで参加する曲があったりジブリ曲で自然と歌い始めたりと、演奏者参加者の掛け合いが生まれるミニコンサートになりました。トークでは地域で演奏家を呼ぶ際の財源や無料の地域コンサートの情報入手方法についてなど、具体的な内容まで出演者と参加者が話しました。

また、イベントの様子は後日MHKS公式YouTubeチャンネルより配信予定です。



MHKS公式
YouTubeチャンネル



- 出演** 池田緋沙子氏（フルート）、築田ちゆり氏（クラリネット）、渡邊千晶氏（ピアノ）
- 進行** 田原さえ氏
- 主催** 一般社団法人ミュージックプロデュースMHKS
- 共催** 特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場

日付	2026年1月10日（土）
会場	エル・パーク仙台スタジオホール
参加	親子96名

参加者感想

- ・クラリネットがどんどん小さくなっていった曲は、子どもも親もびっくりでした。とても楽しく過ごせました。ありがとうございました。
- ・子どもがくつをぬいで座れるスペースなどあってありがたいと思いました。
- ・歩き回っても良いといわれているとより良いと思う。

『みやぎチャレンジプロジェクト』募金のお願い



今年も宮城県共同募金会が募集した社会課題解決『みやぎチャレンジプロジェクト』にエントリーしました。

このプロジェクトは、地域課題を解決するために各団体が取り組むテーマや使い道を寄付者が評価し、募金する「テーマ・使途選択募金」です。昨年は、44名の皆様からの募金と、宮城県共同募金会からの助成金も加わり、総額44万4千円を戴きました。この資金で、ママパパライン仙台の安定的開設（毎週金曜日&キャンペーン期間 計56日間）と広報のためのカード11万枚を作成することができました。カードは宮城県内のすべての幼稚園・小学校・児童館等の子ども関係機関へ配布し、子育て中の保護者に届けることができました。

孤独で孤立している子育てを頑張っているママやパパ達への応援ダイヤル「ママパパライン仙台」への募金をお願いいたします。

【募金の方法】

- ①宮城県共同募金会『みやぎチャレンジプロジェクト』募金用紙（同封のせん杜専用振込用紙）をご使用になり、郵便局窓口でできます。
- ②下記QRコードから、『みやぎチャレンジプロジェクト』特設サイトをご覧ください。

【募金期間】～令和8年2月28日（土）

是非ご支援をお願いいたします！ ▼詳細ページ▼



「ママパパライン仙台」
寄付詳細ページ



大地を駆ける馬のごとく、榴岡&新田児童館は、地域の皆様の思いと共に、両児童館スクラムを組んで「子どもが主役！地域に根差した子どものホットステーション」の深化に駆け巡ります。本年もよろしくお申し込み申し上げます。

両児童館ともに、この3月末までに「目指す児童像&スタッフ像」を掲げ、上記の達成に向けチーム児童館で取り組みます。

榴岡児童館

☆子どもスタッフ会改め「tsutsujiプロジェクト」の活躍

児童館まつりをプロデュース後、tsutsuプロへのオファーが2件ありました。榴岡小PTA主催「榴魂祭」へのブース出店とせん杜「杜の子まつり」での当日スタッフです。自らの一歩が繋がり子どもたちが子どもたちを盛り上げる関係が生まれる、その瞬間を傍らで覗ける幸せを感じました。現在3月に行う「子どもまつり」に向け準備中です。



新田児童館

皆様 明けましておめでとうございます。昨年の新田児童館のモットーは「心穏やかに笑顔で進もう」今年はそのにプラス「チーム力の向上」とし、職員一人ひとりがチームの一員としてチームの向上のために考え実行する年にしたいと思います。さて秋からの報告をしましょう。10月25日新田小PTAとの「防犯ウォークハロウィン」は12グループの幼児から大人まで約200人の参加者が、駆け込み110番6か所を回りました。この形は新田地区のハロウィンとして定着してきたと感じます。11月15日児童クラブ保護者会との

☆坪沼ワークショップから館庭ワークへ

クマ警報発令が続き、坪沼行きは断念。急遽、虎ちゃん（宮教大教授）による館庭ワークとなり、坪沼産の丸太や枝を鋸でギコギコ、思い思いの創作物を作りました。「守り神さま」はゾウさんの家共催の「みんな一緒の作品展」に鎮座しました。

☆4月から12月までの自由来館児童数が増加しています。

子ども同士が集う場としてたくさんの個性がぶつかり合い、そして顔見知りになって相手の存在を感じ始める。子どもは子どもの中で育つ！子どもたちの可能性を引き出すのは大人、めざすスタッフ像に繋がることである。

「有機米の新米食べ比べ」では43名の親子参加があり、新米に加え役員のお母さん達の豚汁にも舌鼓を打ち、当日の様子は河北新聞や保全米の会報誌にも取り上げられました。11月29日小学校高学年と中高生イベント「夜の児童館」も30名の参加でバーベキュー、久しぶりの成長した中学生に会えた楽しい時間となりました。





サポート&ご協力ありがとうございました!

(敬称略・順不同)

■ママパライン仙台■受け手の皆さん、スーパーバイザー

■正会員■(入会)大久保潤 宮崎雅行

(更新)新川達郎 照井和子 鈴木智可 阿部清人

大久保佳奈子 岩住昭子 支倉未来 畑山みさ子

有坂紀美江 橋本潤子 橋本直 合同会社Harmony

小玉順子 齋藤純子 吉澤みはる

■特別支援会員■(更新)佐々木仁 大澤寛壽 五十嵐俊江 菅野修 永井花香里 小岩孝子

■支援会員■(入会)田中佳江 伊藤さくら (更新)佐藤久枝 大久保朝江 栄佐紀 江刺昌子

吉澤憲人 吉澤大輝 熊谷知穂 伊藤通子 金井ユキエ 齋藤正好 森川のり子

一ノ瀬美枝子 大沼洋子 伊藤順子 山口哲男 猪股亮文 渡辺道代 中村アサ子

【お知らせ】

11/6 ゆうちょ振込にて会費を納入いただいた支援会員様1名のお名前が未記入となっておりました。お心当たりの方は、事務局までご一報いただければ幸いです。



ピックアップ情報

工作×プログラミング

「CAMPクリケットワークショップ」

小さなコンピューター「ピコクリケット」とモーター・スピーカー、身の回りにある素材、みんなのアイデアを組み合わせるグループで協力しながら作品を作ろう!

◆日時: 2月14日(土) 13:00~16:30

◆会場: 東北大学片平さくらホール

◆対象: 小1~小3の児童(定員20名)

・保護者の方はご参加いただけません。見学席をご用意しております。

◆参加費: 無料 要申込

(応募者多数の場合は抽選、招待状送付で当選連絡)

◆お申込み: 2月1日(日)まで

右の二次元コードより→



◆共催: SCSK株式会社

SCSK Minorityソリューションズ株式会社

◆後援: 仙台市教育委員会、東北大学

◆お問合せ:

SCSK株式会社サステナビリティ推進部

電話/03-6772-9020

☐entry@camp-k.com



子育て応援ダイヤル★ママパライン仙台★

☎022-773-9140

毎週金曜日10時~16時



ピックアップ情報

「丸森 シルクワールド

~アクセクの帰還~」

AZ9ジュニア・アクターズ 第33回公演

そこに、もう一つの宇宙があった。

あぶくま銀河 ファンタジー!

◆日時: 2月14日(土)・15日(日) 両日14:00開演

◆会場: えすこホール(大ホール)

◆入場料: 一般1,000円(当日1200円)

U-24 600円(当日800円)

親子ペア1,400円(当日1800円)

(4歳未満のお子様はご入場いただけません)

◆託児サービス: 公演の1週間前までにご予約下さい
お子様お一人につき500円

◆お問合せ: 仙南地域広域行政事務組合 教育委員会

電話/0224-52-3433

えすこホール 電話/0224-52-3004

